

令和●年●月●日

鹿屋市長 様

申請人

住 所 鹿屋市●●町●●番地

氏 名 ●●里山林組合 代表 猪 鹿男 印

令和●年度鹿屋市里山林等整備モデル事業補助金交付申請書

令和●年度における鹿屋市里山林等整備モデル事業補助金の交付を受けたいので、鹿屋市補助金等交付規則第4条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

1 補助事業等の名称

鹿屋市里山林等整備モデル事業○○地区

2 交付申請額 ●●●, ●●●円

3 補助事業等の目的及び内容

通学路等の沿線や集落周辺の竹林及び雑木林などを整備し、景観の改善を行うとともに、緩衝帯の機能を復活させることにより、鳥獣を寄せ付けない鳥獣被害防止対策を行う。

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

(3) その他

① 位置図

② 見積書等の積算根拠資料

③ 土地所有者等の同意書

# 事業計画

## 1 事業の目的

通学路等の沿線及び集落周辺の竹林、雑木林等の整備を行いことにより、安全の確保及び良好な景観の形成、鳥獣被害防止対策としての鳥獣を寄せ付けない緩衝帯の機能を復活させる等の取組を行う。

## 2 事業主体

●●●●森林環境保全組合

## 3 事業の内容

### 里山林整備活動など

- ・通学路や生活道路として利用される道路に近接する里山林面積〇〇㎡を整備する。
- ・整備後も10年間継続して適切な管理を実施する。

## 4 事業の実施効果

参加者●●名に森林の大切さや認識を深めてもらう。

## 5 事業実施予定期間

補助金交付決定から令和●年●月●●日まで

第2号様式(第4条、第14条関係)

収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	比 較		備 考
			増	減	
市 補 助 金	●●●, ●●●	0	●●●, ●●●		整備面積●●m <sup>2</sup>
受 益 者 負 担	●●, ●●●	0	●●, ●●●		●人
計	●●●, ●●●	0	●●●, ●●●		

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	比 較		備 考
			増	減	
燃 料 費	●●, ●●●	0	●●, ●●●		ガソリン、混合油
消 耗 品 費	●●, ●●●	0	●●, ●●●		替刃
車 両 借 上 代	●●, ●●●	0	●●, ●●●		
作 業 機 械 等 借 上 料	●●, ●●●	0	●●, ●●●		運搬費及び作業機械 オペレーター代含 む。
資 材 等 購 入 費	●●, ●●●	0	●●, ●●●		
委 託 料	●●, ●●●	0	●●, ●●●		危険箇所のみ業 者依頼
処 分 費	●●, ●●●	0	●●, ●●●		伐採樹木の処分
計	●●●, ●●●	0	●●●, ●●●		

(参考様式)

鹿屋市里山林等整備モデル事業施業同意書

私は、所有（占有）する土地等について下記の事項を承諾し、鹿屋市里山林等整備モデル事業における森林施業の実施に同意します。

記

【承諾事項】

- 1 事業実施及び施業に伴う地形、林相変化に同意する。
- 2 本事業の趣旨を理解し、対象木の伐採等による補償が発生しないことを承諾する。
- 3 地域住民等が森林管理のため巡視や下刈りなどの維持管理作業を行うことを容認するものとする。
- 4 事業を行った対象地は別途、鹿屋市と事業主体が締結する協定期間中は伐採及び森林以外の用途に転用しない。

鹿屋市長 様

年 月 日

事業主体代表

住 所 鹿屋市●●町●●番地

氏 名 ●●里山林組合 代表 猪 鹿男 印

土 地 の 表 示

所在地	地 目	土地等の所有（占有）者	印
鹿屋市●●町●●番地	山林	猪 鹿男	印
鹿屋市●●町●●番地●	山林	●● ●●	印
鹿屋市●●町●●番地●	山林	●● ●●	印
鹿屋市●●町●●番地●	山林	●● ●●	印

(参考様式)

## 鹿屋市里山林等整備モデル事業の実施に関する協定書

鹿屋市と●●里山林組合 代表 猪 鹿男 (以下「事業主体」という。)は、鹿屋市里山林等整備モデル事業 (以下「事業」という。)実施地の管理について、次のとおり協定を締結する。

(協定の目的)

第1条 この協定は、事業の円滑な遂行と事業実施地を適切に維持管理していくことを目的とする。

(期間)

第2条 この協定の期間は、令和●年●月●日から令和●年●月●日までとする。  
(10年以上)

(事業実施区域)

第3条 この事業の実施区域は、別添図のとおりとする。

(事業実施地の管理)

第4条 事業主体は次に掲げる責務を負う。

- (1) 事業主体は、事業実施地の里山林の公益的機能が持続的に発揮できるように不用木、侵入竹等の伐採除去及び下草、低木の刈払いなどの維持管理作業を行い、適切な森林管理に努めるものとする。
- (2) 事業主体は、事業主体の関係者が巡視等を行うことにより自らが、事業実施地の里山林の状況や災害の危険性を把握する活動を行うものとする。

(行為の制限)

第5条 事業主体はこの協定期間中においては、事業を行った里山林を森林以外の用途に転用及び伐採は行わないものとする。ただし、やむを得ない事由により行為を行う場合は、あらかじめ鹿屋市の承諾を得なければならない。

(協定の承諾)

第6条 協定の期間中に事業実施地の里山林を所有権移転又は賃貸する場合には、事業主体は所有権を取得する者又は賃借を受ける者に対して、この協定の継承を促すものとする。

(災害等による損害)

第7条 事業の実施中に火災、天災その他鹿屋市の責めに帰さない事由により、事業実施地の里山林に生じた損害については、鹿屋市はその責任を負わない。

2 事業実施によって、事業実施地の里山林の林相が著しく変化、または立木その他に損害が生じた場合であっても、鹿屋市はその責任を負わない。

(特別な事業による協定の失効)

第8条 次の各号に掲げる場合は、その協定の全部または一部はその効力を失う。

(1) 事業実施地の里山林の全部又は一部が公共用事業の用に供される時

(2) 火災、天災その他当事者の責めに帰さない事由により、事業実施地の里山林の全部又は一部が滅失したとき

(疑義の決定)

第9条 その協定に関し疑義が生じた場合又はこの協定に定めがない事項で必要がある場合については、鹿屋市及び事業主体協議のうえ定めるものとする。

本協定を証するため、本書2通を作成し、鹿屋市及び事業主体記名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和●年●月●日

鹿屋市

住所 鹿屋市共栄町20番1

氏名 鹿屋市

代表者 鹿屋市長 中西 茂

事業主体

住所 鹿屋市●●町●●番地

氏名 ●●里山林組合 代表 猪 鹿男